

西根

40周年と体育館新築記念し協賛会設立



記念事業協賛会設立総会には約80人が出席しました

西根中学校統合40周年並びに体育館新築落成記念事業協賛会(猪川一裕会長の設立総会は9月13日、西根地区市民センターで行われました。西根中学校は昭和40年に大更、東大更、田頭の中学校が統合し誕生。本年度の卒業式を前に体育館が完成する予定です。協賛会では、校旗や横断幕などを新調するほか、中庭や学校周辺の環境整備を計画。開催する予定です。

防火活動で渋川少年消防クラブを表彰

西根・松尾・安代学童相撲大会では、大人顔負けの豪快な技も飛び出し、会場を沸かせました

渋川小学校の全児童で構成する渋川少年消防クラブは、県幼少年婦人防火委員会の優良クラブに選ばれ、9月14日に表彰を受けました。

同クラブは、昭和56年に結成。火災予防の呼び掛けや救急活動の実技発表などの活動を開いています。松村貴則團長と児童会長の鈴木里奈さん(ともに6年)は「今日の表彰を励みに、渋川から火災を出さないよう活動を進めた」と決意を新たにしました。



表彰状を受け取る松村団長(中央)と佐々木公太副団長(右)

実りの秋に感謝して平館八幡宮例大祭

平館八幡宮例大祭と平館おまつりつこワッショイは9月17日、平館八幡宮で行われました。

例大祭では、児童らが岩手山神社山伏神楽や野口鹿踊りなどを舞い、秋の実りに感謝しました。会場は屋台がズラリと並び、秋祭りのにぎわい。伝説の福もちひろいや盆踊りなども行われ、訪れた人たちを楽しませました。

会場では、八幡平市1周年を記念して、第26回西根・松尾・安代学童相撲大会も行われました。

■団体 寺田スポーツA

■個人 ▼女子の部 武田美咲(東大更小) ▼男子の部 4年・

松浦智哉(平館小) 5年・上

山陽平(寺田スポーツ少) 6年・

遠藤圭吾(寺田スポーツ少)

八幡平市

長寿を祝い、健康を願つて敬老会を開催

敬老の日を前に9月14、15の両日、市内7会場で敬老会が行われ、地域でお年寄りの長寿を祝いました。

14日は西根地区4会場、15日は松尾地区1会場と安代地区2会場で行われました。今年から敬老会の対象年齢を75歳以上に統一。西根24人、松尾1312人、安代1249人、合計5056人が対象となりました。市内の最高齢者は101歳の根守マ



89歳を迎えたお年寄りには、平館高校学校家庭クラブが一つ一つ手縫いで作り上げた、メッセージ入りの紫薫枕が贈られました(田山地区)



ますますの健康を願い全員で乾杯する参加者(寺田地区)

犯罪のない明るい地域づくりを推進する旧3町村の防犯協会は8月28日、3団体を合併し「市防犯協会」を設立しました。会長に田村正彦市長、副会長に渡辺東六さん(西根)、松尾勇さん(松尾)、島内益男さん(安代)をそれぞれ選出しました。



設立総会は8月28日、市防災センターで行われました

犯罪のない地域を目指し市防犯協会を設立



北岩手地区大会で最優秀賞を獲得した田村春美さん

わたしの主張北岩手地区大会は9月5日、葛巻町の葛巻中学校で開かれ、西根中3年の田村春美さんが最優秀賞を獲得しました。田村さんは「心の小さな扉」を題して持論を展開。あいさつを通して、「どんな時でも、人に心を開いて接することができる人になりたい」と誓いました。

大会では、本市のほか岩手県の田村春美さんが最優秀賞を獲得しました。

葛巻両町の中学校12校から選ばれた代表が発表しました。

田村さんは「心の小さな扉」を題して持論を展開。あいさつを通して、「どんな時でも、人に心を開いて接することができる人になりたい」と誓いました。



西根・松尾・安代学童相撲大会では、大人顔負けの豪快な技も飛び出し、会場を沸かせました

安代



こねこの口の口の人形劇を楽しむ園児たち

ナマの人形劇公演に園児たちワクワク

安代地区の保育所、児童館、幼稚園の園児約百人が人形劇を楽しむ、ちびっこワクワク劇場は9月25日、安代若者センターで行われました。人形劇の公演を行ったのは、東京の「劇団すきのこ」の3人。3歳児以上の園児たちは、劇団員が巧みに操る人形の動きを楽しみながら、物語の世界にどっぷりと浸りました。

環境にやさしいEMだんご作りに挑戦



楽しみながらEMだんご作りに挑戦する参加者たち

地球にやさしい環境づくりを進めようと、市公衆衛生組合連合会安代支部は9月24日、安代若者センターで研修会を行いました。講演会では、盛岡市議の千葉健一さんが「地域からの環境浄化作戦、高松公園の実践から」と題して講演。この後、参加者たちは、米ぬかなどに有用微生物群(EM)、糖蜜などを加えて固めた「EMだんご作り」に挑戦し、環境保全について理解を深めました。

秋の実りに感謝する曲田正観世音神社祭礼は9月23日、同神社などで行われました。式典で、本宮武彦実行委員長が「人は昔から祭りが好きです。集まる楽しさ、踊る楽しさ、収穫の喜びを味わつてほしい」とあいさつし、祭りが始まりました。幼児から大人まで35人が、市無形民俗文化財指定の曲田先祓いを披露。一行は曲田公民館から同神社まで、五穀豊穣に感謝しながら練り歩きました。

五穀豊穣を祝い勇壮に曲田先祓い奉納

曲田先祓いは、太鼓やかな笛の音に合わせて踊る伝統的な舞。色鮮やかな衣装を身にまとい、刀を使用するのが特徴です。境内では刀や扇を持ち、8種類の舞が奉納されました。曲田公民館では、同地区的祭りも行われ、演芸大会などを開催。安代雪絵ショーや秋田民謡大館民舞団が会場を沸かせました。午後3時から盆踊り大会も行われ、楽しい一日を過ごしました。

松尾



小学生の太鼓打ちを乗せた山車が、太鼓を響かせながら地区内を練り歩きました

出来秋に感謝する伊那伊那神社の祭典は9月16日、野馳地区の同神社境内などで行われました。午前9時、小学生の太鼓打ちを乗せた山車「福神丸」と松野保育所の子ども山車が元気よく出発。「ヤーレ、ヤーレ」と威勢のよい掛け声とともに地区内を練り歩き、祭りが始まりました。



家内安全や五穀豊穫を祈願し、大黒舞を舞う女性たち

市身体障害者福祉協会松尾支部は9月12日、モリアオガエル人形作りを市総合福祉センターで行いました。昭和45年から同支部が制作を引き継ぎました。会員たちは、人形は旧松尾鉱山高校の生徒が商品化したのが始まりで、パーツごとに分担して作業を開始。一つ一つ丁寧に、かわいいガエルを仕上げました。会員たちは、この人形は松尾地区内の産直施設などで、一体1300円で販売されています。



かわいいモリアオガエルの人形を仕上げる会員たち

天然記念物モリアオガエル人形を作成



横断歩道で左右を確認しプレーする選手たち(松尾会場)

市長杯交通安全教育ゲートボール大会は、9月20日に松尾と安代両地区で、25日に西根地区で行われました。この大会は、高齢者に交通ルールを身に付けてもらおうと、毎年行われています。競技者は、コート前に設置された横断歩道で安全確認しなければ減点される特別ルール。選手たちは安全に気を付けながら熱戦を開催し、松尾地区は上寄木、安代地区は百姓会、西根地区は寿が優勝しました。



手に刀を持ち、色鮮やかな衣装で曲田先祓いを奉納する踊り手たち